



第29回全国高校サッカー選抜大垣大会 新型コロナウイルス感染予防に関するガイドライン

1. 選手・チームスタッフ・審判・運営役員の大会参加について

- (1) 以下の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせてください。
 - ① 体調が悪い場合。(例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある)
 - ② 同居家族や身近な人に感染が疑われる方がいる場合。
 - ③ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合。
- (2) 各チーム代表者は、大会参加の、選手・チームスタッフの氏名・連絡先及び当日の健康状態を記載した名簿(様式1)を会場到着時に本部に提出してください。
- (3) 各チーム代表者は、選手およびチームスタッフの健康を確認し、「チーム健康管理表」(様式2)に必要事項を記入し、会場到着時に本部に提出してください。
- (4) 大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合、速やかに大垣選抜大会事務局に報告してください。
- (5) 来場者の連絡先、確認(来場者の感染を確認した場合、他の来場者に速やかにメール連絡する「岐阜県感染警戒QRシステム」を活用)。また、接触確認アプリ(COCoA)を利用する。

2. 大会時における感染防止対策

【会場到着時まで】

- ① 自宅・宿舎を出る前に必ず検温する。(発熱、咳、咽頭痛などの症状がある場合も参加しない。)
同居人や身近な人に感染が疑われる人がいる場合は参加しない。
- ② 会場到着時は必ずマスクを着用。他選手との会話は必要以上にしない。
- ③ 会場到着時に消毒液で消毒を行う。消毒液がない場合は、液体石鹸で手洗いを行う。
- ④ チーム代表者は、「選手名簿：様式1」と「チーム健康管理表：様式2」を本部に提出する。
- ⑤ 更衣場所では十分な距離をとり更衣を行う。必要のない会話は行わない。
- ⑥ 会場までの移動時における感染防止のための適切な行動を心がける。

【更衣場所～ウォームアップ・練習時】

- ① 大きな声をかけ合わない。ストレッチなど個々で行う。
- ② ボールを使った練習は、選手間の距離を考慮して行う。接触をひかえる。
- ③ 飲料用のボトルの共用はしない。（各自がボトルを持参する）

【試合前～試合終了】

- ① 試合開始時・終了時のセレモニーにおける相手選手および審判団との握手は行わない。
- ② 得点時にハイタッチや抱擁は行わない。
- ③ ピッチ内でつばや口に含んだ水を吐かない。
- ④ 飲料用のボトル・タオルの共用はしない。（各自がボトルを持参する）
熱中症対策のためピッチサイドにおくスクイズボトルは口をつけないものとする。
- ⑤ クーラーボックスやアイスボックスなど複数の人が触るものは使用しない。
個々で用意することが望ましい。
- ⑥ ベンチに入る者はマスクを着用し必要以上の会話をしない。
- ⑦ ベンチ内では間隔をあけ座る。
- ⑧ スタッフは必要以上にテクニカルエリアで大きな声で指示を行わない。

【試合終了後】

- ① 試合終了後は手洗い、うがいを行い、マスクを着用する。
- ② チームのミーティングなど短時間ですませる。試合終了後 1 時間をめどに会場から退出する。
- ③ ごみは各自で持ち帰る。チーム代表者は更衣場所の清掃確認を行う。
- ④ 会場からの移動時における感染防止のための適切な行動を心がける。

【大会参加選手・観客について】

- ① 応援については基本的に会場に入れず無観客とするが、保護者については下記のようにする。

【保護者について】

- ① 選手が発熱等の症状を発症した場合、または熱中症等で医療機関への搬送の必要が生じた場合に備え、医療的補助員として保護者の会場での待機を認める。
- ② 待機場所については、各会場のルールを最優先とする。会場長は参加チームに待機可能場所を周知し、チーム責任者はチーム保護者に待機場所を徹底する。
- ③ 医療的補助員（保護者）は、試合会場本部受付にて、氏名・住所を記入し、検温・手指消毒を行う。



【提出書類について】

- ①大会参加名簿（様式1）→大会初日に試合会場本部へ提出
- ②チーム健康管理表（様式2）→試合ごとに作成→試合会場本部へ提出
- ③医療的補助員名簿（様式3）→試合会場本部受付にて記入

【その他】

- ①各チームは、ベンチやトイレのドアノブ、流水レバー等、多数の人が触れる部分について、重点的に消毒すること。